

サッカーゲームにおける突破動作に関する一考察

—— '98 W 杯フランス大会より ——

高 坂 茂*

A Study of Breakthrough in The Soccer Game

—— The Case at The World Cup in Furance '98. ——

Shigeru KOSAKA*

Abstract

The Main purpose of this note is to research principle of practice menu and tactics of the team. Serect 5 nations from 32 participating nations. And analyze how many defence and breakethrough were they trying in soccer game.

Keywords : breakthrough, soccer game

1. はじめに

あらゆるスポーツにおいて、指導者あるいはそれに関わる人達においても、競技力の向上を願って止まないものである。サッカー競技においてもしかりである。今日の試合における、スピードあふれる試合展開、特に年々個人技術の進歩は目を見張るものがあるにも関わらず、コンパクトなサッカーあるいはパスサッカーが主流となってきたなかで、単にサッカーの醍醐味でもある相手守備者をフェイント等個人技で突破する動作は見るものに多大なる興奮と興味を教えてくれるものである。こうしたなかで、私達は常に先見の明をもって、技術の習得あるいは指導法を確立していかなければいけないと考える。

昨今のメディアの急激な発達によって世界の一流のゲームが頻繁に見られるようになり、視覚から入ってくるさまざまな幾多の情報が脳裏

にインプットされる機会が、否応なしに増大しつつある。ただ単にそれらを興味本位に傍観するのは誠にもったいないものと思われる。

このようなことから本研究は、先にフランスで行われた第 17 回 FIFA. ワールドカップにおける参加全 32ヶ国から各大陸間の代表国を抽出し、本ゲームにおける、個人技による相手デフェンスを突破する動作（仕掛け）の回数を記録し、それがチームにどのような結果と意味をもたらしているのか検討しようとした。突破動作とは、相手防御網を個人技で仕掛けることをいい、フェイントモーションが事前にかけられるケースが殆どであり、この一連の動作がなければ、相手は簡単に攻撃をブロックしてしまうものである。これらから突破の動きに注目し、あらかじめ抽出した各国のゲームを検討分析した。

尚、今回においては、ヨーロッパから開催国フランス、南米から前回優勝国ブラジル、アフリカから前回アトランタオリンピック優勝国ナイジェリア、北中米から前回ホスト国のアメリカ、そしてアジアからは初めての出場を果たし

平成 10 年 10 月 16 日受理

* 総合教育センター・助手